



## 会の告知版

- 10月28日(日) 早慶戦応援観戦 12:10 神宮球場1塁側6番入口前集合  
 11月 3日(日) 東久留米稲門会のホームページ開設  
 Address: <http://homepage2.nifty.com/35292>  
 12月 2日(日) 東久留米雑学塾(第2回) 「私の幻のオリンピック」(詳細別紙)  
 講演 馬場清彦 早稲田大学体育局元講師(会員) 於 市中央公民館  
 2日(日) 役員会
- [大学・稲門会関連参加行事]  
 10月21日(日) ホームカミングデー  
 11月12日(月) 奥島総長杯第2回全国支部ゴルフコンペティション  
 17日(土) 商議員会
- [部会]
- |            |                  |                              |             |
|------------|------------------|------------------------------|-------------|
| グルメ部会      | 10月27日(土)        | 第1回会合(発足会)                   | 小平、「いろりの里」  |
| 太極拳部会      | 10月27日(土)        | 例会                           | 成美教育文化会館    |
|            | 11月10日(土)        | 例会                           | 市民プラザホール    |
|            | 17日(土)           | 例会                           | 成美教育文化会館    |
|            | 12月 1日(土)        | 例会                           | 同上          |
|            | 15日(土)           | 例会                           | 同上          |
| ゴルフ部会      | 11月 6日(火)        | 秋期コンペ                        | 秩父、廣済堂埼玉GC  |
| 山歩き部会      | 11月18日(日)        | 御岳大塚山と御岳溪谷(予備日11/23(勤労感謝の日)) |             |
| 書道部会       | 11月11日(日)        | 例会                           | 東部地域センター    |
| <b>春遊会</b> | 12月14日(金)~16日(日) | 9:00~17:00                   | 中央図書館2F     |
| 俳句部会       | 10月21日(日)        | 例会                           | 中央図書館2F小会議室 |
|            | 12月 9日(日)        | 例会&忘年会                       |             |
| 囲碁部会       | 毎月第4日曜日          | 例会                           | 成美教育文化会館    |



### 早稲田大学125周年記念事業募金

現在大学は創立125周年記念事業募金を行っています。東久留米稲門会の募金への協力の具体的方法として、最低寄付限度を設定しました。年会費3,000円を今年度より7年間に限って2,000円値上げし、この増額分を毎年大学に寄付いたします。

本年度の寄付金合計額は平成13年10月10日現在296,000円でした。この金額を10月11日に大学に寄付致しました。ここにご報告致します。同時に会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

なお、本会とは別に直接、大学の募金にもご協力をお願い致します。

### 第23回三多摩稲門連合会会長会/連合大会・懇親会開催さる

8月25日(土)、三多摩22稲門会の会長以下総勢40名が所沢、掬水亭に参集。三多摩稲門連合運営要領及び三多摩連合大会開催につき事前討議。大学から奥島 総長、校友会から中嶋代表幹事も加わり、今回幹事役の当会からは、高橋会長、帆角/比護両副会長、松崎監事が出席。

10月13日(土)午後4時から本番の三多摩稲門連合大会が、早大ガーデン ハウスで開催さ

れた。奥島総長、中嶋校友会代表幹事臨席のもと、約120名の 校友が参集、懇親会では早稲田大学モダンジャズグループの演奏も加わって、盛況の裡に全大会は終了した。清瀬、東村山稲門会と共に今大会の運営に携わった当会からは高橋会長ら16名が出席、会場を盛り上げた。

### 納涼会開かる

9月8日(土)午後6時、44名の参加を得て成美教育文化会館1階ギャラリーで開催された。生憎の雨模様で、予測人数を若干下回ったが、今夏の異常とも言える猛暑を元気に乗り越えた若々しい会員が久しく顔を揃えた。

本年度新しく発足した同好会の部会長が思い思いに部会紹介を行い、早速部員となる会員もあった。今回初めてカラオケが持ち込まれ、会長を始め多数が自慢の喉を聞かせてくれた。親睦の輪がいよいよ広がる中、惜しくも終宴を迎え、9時過ぎ散会。

### 「東久留米雑学塾」開講

10月7日(日)幸町市福祉センターで当稲門会主催の「雑学塾」が産声を上げた。記念すべき初回の講師は当会顧問の坂本信太郎名誉教授、演題は「川柳から見た江戸の庶民」。初回の講演を戴くにあたり、同氏はほぼ5000句の江戸川柳に目を通され、内188句を抜粋されて、往時の庶民のありようをわかりやすく紹介、解説された。往時の下級武士と町人(中流)が詠った付句(川柳)40句の紹介解説が終わったところで、残念なことに時間が来てしまい、一般町人が詠んだ講師引用句はカットされた。紹介された下級武士と中流町人の川柳の中から更に1句ずつ抽出して(講師による)、ここに紹介し、一般下民の川柳は又の機会に委ねることにしたい。

御出入り三人扶持で泣寝入り  
ばけそうな花婿の出るするが丁

(受講者 39名(含会員外7名))

### ホームページ公開のお知らせ

製作責任者 松崎 博 監事

東久留米稲門会のホームページを11月3日(文化の日)に開設いたします。以後2ヶ月毎奇数月に内容を更新する予定です。身近なニュースで見ても楽しいホームページにしたいと思います。皆様からの話題・写真の提供をお待ちしております。ホームページのアドレスは

<http://homepage2.nifty.com/35292> です。

ホームページの製作は初めての経験で、どのソフトを用いればよいのか、またどのように編集すればよいのか迷いましたが、今回の方針は、

- ・早稲田カラーである海老茶系の色合いで纏める、
- ・派手なホームページにならないように

です。ご意見ご感想をお寄せ下さい。

( e-mail address: w-higashikurume@nifty.com )



### ポストマン担当地域の一部変更がありました

ポストマンのご苦勞により通信費が大きく削減されてきています。ポストマンの皆様、暑かった夏の中ご苦勞様でした。引き続き宜しくお願い致します。一部ポストマンの担当地域が変わりました。新しく神宝町が安次峰氏、学園町が高橋(勤)氏の担当にそれぞれ加わり、弥生が比護氏から、佐々木氏に移行されました。修正リストを下記再掲します。尚 ポストマンとしてご協力戴ける方がおられましたら、お申し出下さい。

1区	井坂 宏	氷川台	棚野 愛子	上の原、金山町の一部
	安次峰 暁	神宝町、大門町、金山町の一部		
2区	高橋 勤	新川町、浅間町、学園町	松崎 博	本町
3区	森田 隆	中央町、南沢の一部	佐々木洋一	前沢、弥生
4区	帆角 信美	下里、野火止、幸町	竹山 信保	小山
		八幡町、柳窪(6区)		

5区 高橋 哲男 南沢の一部

6区 西村 亨 滝山の一部

比護喜一郎 滝山の一部

## 同好会便り

### 書道部会

8月29日(水)～30日(木)恒例となりつつある当部会の夏季合宿が、今年は山中湖畔「富岳荘」にて実施した。

6台のマイカーに分乗して、正午に現地に参集した武藤部会長以下総勢18名は、寛ぎの一時をもつ間もなく、武藤部会長から練習方法について説明をうけた後、早速に特訓の開始である。

今年のテーマは、「東稻ニュース」創刊号の同好会便りにも紹介されている12月開催予定の作品展のための下稽古である。

白楽天の詩(五言絶句)の楷書と李白の詩(七言絶句)の行書を、事前に割り振られている各自の持分を臨書して作品とするわけだが、作品は「半紙3枚継ぎ」に書かれるとのことで、ちょうど通常の半紙を3枚継ぎに継いだ程の大きさに5文字あるいは7文字を書くことになり、今まで手慣れてきた字体よりはるかに大きな字を書くわけで並大抵のことではない。

特訓は楷書・行書各5枚づつ書き上げるのがターゲットである。各自思い思いのスタイルで、汗を拭きふき午後5時過ぎまで、4時間以上の手習いに没頭した。習字の稽古でこんなに熱中したのも初めての経験であった。各自の楷書、行書各々一番出来映えのよい作品が広間の壁四面にずらっと並べられた。字体が小さくこじんまりとまとまったもの、用紙いっぱい大きく書かれたもの、中心からはずれているもの等々千差万別にぎやかな五言絶句、七言絶句ができあがり、なかなかの壮観である。武藤講師より一点一点につき講評があつて、特訓の終了である。総評として「作品展開催OK」のお墨付きがあつて、12月の作品展にむけて各自自信を深めたことであらう。

夕食後、懇親二次会へと移り、富士山麓のさわやかな晩夏の夜を楽しんだ。アルコールがすすむにつれ、益々熱のこもる武藤講師の書道に対する思い入れには、一同ただただ感服するばかりであった。

9月、10月、11月の定例部会での猛稽古を経て、12月の「作品展」開催の運びとなる。開催は12月14日(金)～16日(日)、市立中央図書館です。稲門会の皆様を始め、多数の方々のご来場を期待しています。(土屋記)

### 俳句部会

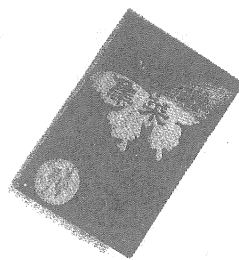
創部5年目にして始めて一泊2日の吟行が実現した。当初は「風の盆」に出掛けることにしていたものだが、費用、予約の困難さなどで断念した経緯がある。

9月17日(月)早朝、チャーターしたマイクロバスでそれぞれの参加者の近くを巡回し、新会員予定者3名を含む15名全員の乗車が終わったところで、一路吟行地、信州は木曾路、馬籠/妻籠宿に向かった。

高速中央道の事故もあって吟行に費やせる時間が狭まってしまったのは惜しまれたが、木曾谷の山峡は一足早い秋に溢れていた。句会はK会員の紹介でお世話になることにした恵那市の老舗料理旅館「いち川」で開催。吟行、推敲時間が短かったにも拘わらず、佳句が多出した。参加部員の高評価を得た句(4点句以上)は次の6句。

行く秋や屋根に石置く妻籠宿	太田 蔵之助
本陣の石置き屋根や秋高し	安宅 武一
コスモスに人のぬくもり妻籠宿	棚野 愛子
「夜明け前」偲ぶ宿場の白木檜	三田 三
秋風の吹き抜けて行く木曾路かな	大川 洋子
馬籠宿深き庇や風の秋	神田 尚計

翌朝、抜けるような秋空を迎える。帰路は自由吟行で、恵那峡、奈良井宿(藤村記念館他)、



寝覚めの床などを観光。信州信濃の新蕎麦に舌鼓をうったあと、車窓にすすきの群生を見やりながら中央道を走り抜け、午後5時過ぎ無事東久留米に到着した。(比護記)

## 囲碁部会

9月30日、日本棋院で第一回首都圏オール早稲田囲碁祭が開催され当会よりは2チームが参加した。首都圏稲門会から総勢32チーム(1チーム5人編成)が出場したが、2チーム出場は当会の他、横浜稲門会、世田谷稲門会の3会だけであった。結果は善戦及ばず不本意な成績に終わってしまった。最高齢91歳の二段が横浜稲門会代表として元気に出場されていたのが注目を浴びた。(西村記)

10月13・14日、第5回囲碁部合宿を三浦半島のリゾートホテル「マホロバ・マイズ三浦」にて行った。残念ながら直前になって、安藤会長が病欠となり、総勢7名での総当たりリーグ戦を行った。

大激戦の末、小仁井七段、辰巳四段、酒井一級がそれぞれ4勝2敗でトップに並んだ。時間の関係でプレイ・オフは行わず、対局内容、将来性の期待等から、最年少の酒井一級の優勝を満場一致で決定し、併せて初段昇格を決めた。

11階の海の眺望が素晴らしい部屋、海の幸に恵まれたバイキング(ローストビーフを平然と食した強者もいた)など、充実した時間を過ごし、翌日、各自次回を期してそれぞれの家路についた。(辰巳記)

## 女性サークル部会

<世界遺産「ポンペイ展」を見学して> 10月16日(火)男子2名女子6名計8名で、江戸東京博物館で開催中の「ポンペイ展」を見学しました。ポンペイは古代ローマ時代、1万数千人(約半数が奴隷)が住み、農業や貿易で栄えました。しかし西暦79年(フニクリフニクラで有名なヴェスヴィオ山が噴火。麓にあったポンペイは、有毒ガスをふくんだ熱風と火砕流が山からはき出され、街は5~6メートルも積もった灰に埋もれます。ポンペイは跡形もなく埋まってしまう。都のローマからは視察官が派遣されましたが、なすすべがないと判断し街を見捨てます。こうしてポンペイは人々の記憶から消えて行きました。18世紀のある日、ポンペイの隣町で、井戸の工事中に古代の建物の一部が出てきました。このことが地下に街があることを知らせることになり、ヨーロッパの人々の古代へのロマンをかきたてたのです。発掘がすすむにつれ、2000年前の歴史の真実を見せてくれました。苦悶に満ちた人間や動物の遺体に見る最後の瞬間、一鎖につながれていた番犬の石膏型どり、犠牲者の樹脂型どり等。



地震や火山災害の多い日本にとって、噴火で埋没したポンペイの悲劇は決して他人事ではありません。火山は怖いものだ。火砕流は恐ろしい。火山国の日本としては身につまされるものがあります。しかしポンペイ周辺の人々は、火山を間近にしながらも風光明媚なこの地を愛し暮らし続けています。この事実は有珠山や雄山の人々にも「厳しい自然と共に力強く生きていこう」という歴史からのメッセージではないでしょうか。

ポンペイの遺跡から推測できる古代ローマの豊かな暮らし、高い文明、技術は現代の目から見ても豊かさが感じられます。約2000年前(弥生時代)すでに上下水道や舗装道路などの公共施設が備わっていたことです。3つの浴場で汗を流し、劇場で芝居を楽しみ、市場で買い物をし、邸宅には噴水つきの庭があり、部屋の壁はフラスコ画やモザイクで飾られていました。しかしポンペイの住人のすべてが豊かさを楽しんだのでしょうか。ローマ軍に連れてこられた奴隷達の労力、技術、優秀な頭脳によって一部の権力者金持ちが満喫したのではないのでしょうか。現代のものとは遜色のない精巧なガラス細工、台所用品、見事な壁画、モザイクの壁、パン屋の道具類、オリーブ油の絞り機、メナンドロスの首飾り、医療器具、土木建築の用具等々を見学しながら、しみじみ思いをめぐらし考えを深めたことでした。それぞれに充実した見学会であったことを語り合い、第一ホテル両国で昼食をいただいて解散しました。(部会長 大川洋子)

## 太極拳部会

9月1日(土)市民プラザで発足以来既に4回を終了しました。より良い健康保持が渴望され

る今日、深い呼吸に合わせて静かにゆっくり動く太極拳は、理に叶った調心・調息・調身を図る気功健康法と思っております。不慣れな演技指導で恐縮ですが、皆々様と共に明るい健康の輪を築いて参るため、更なる努力を重ねますので、今後とも格別のご協力の程、宜しくごお願い申し上げます。尚、部活動運営についても実りある集まりに育つよう、多くのご意見・ご提案を頂きたいと存じます。  
(部会長 船尾和三)

### 散策山歩き部会

晩秋の奥多摩<御岳大塚山と御岳溪谷ハイキング>をご案内します。開催日は11月18日(日)(天候不良の場合11月23日(勤労感謝の日)に順延)です。詳細は別紙案内チラシ参照いたしますが、今回のコースは御岳駅(JR青梅線)まで電車、滝本駅までバス、御岳山駅までケーブルカーで出てから大塚山まで小1時間歩き、昼食をとった後再びケーブルカーで滝本駅まで下り、御岳溪谷をぶらぶらと1時間30分ほど歩き、沢井駅近くの休憩所”ままごとや”に至る、平坦な紅葉、黄葉散策コースです。ご家族・友人の方もお誘いのうえ、是非ご参加下さい。  
(部会長 川上昇一)

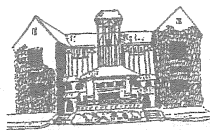
### 郷土研究部会

去る10月13日から14日にかけて4年ぶりに「南沢の獅子舞」が上演されました。「南沢の獅子舞は、五穀豊穡や無病息災を願って、江戸時代の初期から南沢の多門寺で演じられてきました。この舞の特徴は獅子舞と万歳等の芸能が組み合わされているところで、全国でも他に類をみません。昭和42年には東久留米市の無形文化財に指定されています。

今後、このような市の文化財、伝承行事を、「東稲ニュース」、「ホームページ」で紹介して行こうと考えています。次回は「東久留米市の歴史―地名の由来」について解説を加えたいと思います。ふるさとを歩くことも考えています。当市には「黒目川コース」、「落合川コース」、「郷土資料室コース」等史蹟、文化財を巡るコースがあります。

当部会は設立まもない部です。今後の活動、方針等につきご意見、ご指導をお願い致します。そして、当部の企画する行事に多数ご参加戴きたくお願いいたします。(部会長 高橋哲男)

### 噴水広場



「食って食って 食いまくるテレビ」

国米 家己三(会員 S31・政経)

今年の「体育の日」は10月8日でしたが、朝、新聞のテレビ欄をみてめをむきました。「NHK総合」がなんと、朝8時半から夕方6時まで「食料プロジェクト特集―生中継ふるさとの食につぼんの食」で埋めていたからです。しかも夜は夜で「発掘!日本人の食卓、長寿のレシピ大研究」。教育テレビも負けてはいません。夜8時から11時前まで「きょうの料理」「和菓子」「食べること・作ること」。

幸か不幸か、米英によるアフガン空爆がはじまって、この関連の特番のため予定の番組は一部変更されましたが、文字通りNHKは食、食、食のオンパレード。「体育の日」はどこかにふっ飛んでしまいました。

もともと食べる番組は民放が年がら年中、放映してきたものです。ラーメンやそばの名店を紹介したり、温泉や老舗旅館を訪ねて地方にかくれたメニューに光を当てたり。「料理の鉄人」「突撃!となりの晩ごはん」「どっちの料理でショウ」など、各局の看板番組も登場しました。それにつれてグルメ番組専門のタレントが生れ、「タベタレ」があちこち食べ歩いては「おいしい」「うまい」と素朴なることばを連発するようになったのです。この商売、みかけよりははずっとハードで、「タベタレ」の寿命は二年、みんな体調を崩して”戦線離脱”を余儀なくされるといいます。

「廻しても廻しても パクついてるバカテレビ」

外国からやってくると、日本のテレビには辟易するそうです。チャンネルを廻すとCMが大きな口にチョコレートを入れている。次を廻すとドラマだが、茶の間で一家が食事中。その次を廻すとバラエティ番組でタマネギが不眠を治すといって数人の出演者がいっせいに食べている。ニュース

番組だって油断できません。すぐ食べる話題になってしまうのです。

数学者でテレビタレントでもあるピーター・フランクル氏がいました。「日本にくる前、ヨーロッパに20数年いたけど、テレビで料理番組をみた記憶がない。ハンガリーの母に電話しても、日本のお母さんのように「きちんと食べてる、栄養のバランスを考えて、しっかり食べなきゃダメよ」なんていわない。日本人って、すごく食へのこだわりが強いんだと思う」。

洋画をみていると、たしかに食べるシーンはほとんどありません。ストーリーとして、どこかで食べなければならないはずなのに、まるで食べない。イギリスで珍しく「食品フェア」というのが聞かれたことがありましたが、取材にやってきたのはアジア系とか南欧の記者で、地元のイギリス人ジャーナリストはひとりもこなかったという話があります。中欧から北欧にかけては、食文化にはそれだけ恬淡としているということでしょう。


NHKまで食番組にどっぷり漬かるようになって、日本のテレビはますます繰って食って食いまくることになりましたが、不思議なことに視聴者からクレームはほとんどない。「若ものが電車のなかでカップラーメンをすすってる。テレビのせいだ」「テレビのひどい食事マナーをみて、うちの子が真似して困る」というのが少数だけ。逆に、この10月初めの「フードバトル・史上最強の大食い王決定トーナメント」など22.7%の驚異的な高視聴率をマークしました。

結局、日本の視聴者は食番組で、一種の安らぎ、癒やしの境地に浸れるのでしょう。この国ではテロがあろうと、地震が起きようと、グルメ番組は永遠に不滅です。

## 東稲広報室

\* 早大は今秋、ベンチャー企業の経営者を目指す学生に格安で最先端のオフィスを提供するインキュベーション（起業支援）施設を旧早実校舎を拠点に開設。（朝日新聞8/30朝刊）

\* 早大と横河電機のジョイントベンチャー、早稲田大学ラーニングスクエア（株）が、「早稲田大学オープンカレッジ遠隔講座」を、衛星通信を使って配信する事業を展開。現在20ヶ所以上の自治体・カルチャーセンターなどの生涯学習機関に配信している。（詳細情報：早稲田大学ラーニングスクエア（株）、新宿区西早稲田2-3-26、TEL: 03-3202-1697、E-mail: info@wls.co.jp、URL: <http://www.wls.co.jp>）

\*  東京都選定歴史的建造物に指定されている大隈講堂を意匠した80円切手が10月19日全国一斉に発売された。同切手を10枚組み合わせたペーンも同時発売されている。因みに「日本の近代郵便の父」と呼ばれる前島密は東京専門学校の第2代校長を務めている。

\* 朝日新聞9月28日夕刊、海外文化コラムに、「波紋呼ぶ魯迅の私生活研究」と題した杉本達夫会員の小論文が掲載された。

\*（異動・変更）

・ 踊 真紀子さん（S62.文学園町）が、市内学園町2-14-1 に転居。

・ 安宅武一氏が 64-1605に、安藤信雄氏が 58-8713にそれぞれ電話番号を変更。

\*（訃報）8月28日、田築大作氏（S55年商、氷川台）が急逝されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

東稲ニュース

【編集後記】 本紙「東稲ニュース」と当会ホームページを毎月禱かけに発行・更新して、出来るだけ近隣のニュース、情報を提供していこうと言うことになり、本紙は偶数月を、HPは奇数月を担当することになったため、本紙は先月の創刊号に連れて連月の発行となった。編集子は急遽記事集め、原稿集めに奔走余儀なくなったが、出稿依頼をさせてもらった諸兄姉は、快く引き受けていただき何とか第2号をお届けすることができた。各氏に出稿をお願いした際、体調を崩されて療養中、静養中の方々が少なからずおられたことを知り驚きを感じた。方々の一日も早いご快癒をお祈りするとともに、特に季節の変わるこの時期、皆様には健康に十分留意されるようお願いするものである。